

科目名	解剖学Ⅱ				
担当講師名	阿久津 仁美	所属・役職	岩手医科大学 解剖学講座助教	資格・免許	
担当講師名	平川 正人	所属・役職	岩手医科大学 解剖学講座助教	資格・免許	
授業形態	講義・実習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	1 学年前後期
講義の概要	生命維持の為に、必要な人体の構造と機能を学び、看護実践の裏づけとする				
到達目標	<p>「人体の構造と機能」では、身体を構成する器官・組織・細胞の「かたち」（構造あるいは構成）を明らかにし、その「働き」（動態・機能）を学びます。特に、授業では、人体の成り立ちを含めて、構成要素である器官とその組織の正常構造の理解を深めていきます。病気の成立機転と、適切な治療方法を理解し、適切な看護を実践するためには、いろいろな生命現象がいつ、どこでおきているか理解していなければいけません。そのため、人体の基本構造を知り、器官の構成成分である組織と細胞の正常な形態と機能の基礎知識を習得することが重要です。</p> <p>「人体の構造と機能」はⅠとⅡに分かれています。Ⅱでは、「かたち」と「働き」を維持・調節するしくみを理解するための基本事項を習得し、「体液」「排尿」「感覚」「恒常性」「生殖」「神経」について、解剖学の言葉を正確に使って説明できるようになることを目指します。</p>				
講義回数	講義内容				
1～15	1. 内臓機能の調節 2. 情報の受容と処理 3. 身体機能の防御と適応 4. 体液の調節と尿の生成 5. 生殖・発生と老化のしくみ 6. 解剖体見学実習（岩手医大解剖実習室において）【実習】				
教科書等	教科書：「解剖生理学」医学書院 参考書：「入門人体解剖学」改定第5版 南江堂 適宜、資料配布				
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点					
特記事項	単なる知識の暗記でなく、人体(構造)を三次元的に理解する様努める。				

